

[No. 1]

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において定められた、2030年までに持続可能でより良い世界を目指そうという国際目標であり、17の目標によって構成されている（資料1及び資料2参照）。SDGsは、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っており、発展途上国のみならず先進国も自ら取り組む普遍的な目標として、日本を含む各国が積極的に取り組みを進めている。

現代社会を生きる私たちがSDGsの達成に向けて共に取り組まなければならない理由について述べたうえで、17の目標の中から2つを選び、それぞれの目標に関して具体的にどのような問題や課題があり、それらの解決に向けてデザインがどのような役割を果たすことができるかと考えられるか、事例や想定される事例を具体的に挙げながら論じなさい。

資料1

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細



目標 1 [貧困]

あらゆる場所あらゆる形態の
貧困を終わらせる



目標 2 [飢餓]

飢餓を終わらせ、食料安全保障
及び栄養の改善を実現し、
持続可能な農業を促進する



目標 3 [保健]

あらゆる年齢のすべての人々の
健康的な生活を確保し、福祉を促進する



目標 4 [教育]

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い
教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



目標 5 [ジェンダー]

ジェンダー平等を達成し、
すべての女性及び女児の
エンパワーメントを行う



目標 6 [水・衛生]

すべての人々の水と衛生の利用可能性と
持続可能な管理を確保する



目標 7 [エネルギー]

すべての人々の、安価かつ信頼できる
持続可能な近代的なエネルギーへの
アクセスを確保する



目標 8 [経済成長と雇用]

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての
人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある
人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

目標 9 [インフラ、産業化、
イノベーション]

強靱(レジリエント)なインフラ構築、
包摂的かつ持続可能な産業化の促進
及びイノベーションの推進を図る



目標 10 [不平等]

国内及び各国家間の不平等を是正する



目標 11 [持続可能な都市]

包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で
持続可能な都市及び人間居住を実現する



目標 12 [持続可能な消費と生産]

持続可能な消費生産形態を確保する



目標 13 [気候変動]

気候変動及びその影響を軽減するための
緊急対策を講じる



目標 14 [海洋資源]

持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を
保全し、持続可能な形で利用する



目標 15 [陸上資源]

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の
推進、持続可能な森林の経営、砂漠化
への対処ならびに土地の劣化の阻止・
回復及び生物多様性の損失を阻止する



目標 16 [平和]

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会
を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを
提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任
のある包摂的な制度を構築する



目標 17 [実施手段]

持続可能な開発のための実施手段を
強化し、グローバル・パートナーシップを
活性化する

[No. 2]

次の2つの資料をもとに、近年のビジネスを取り巻く環境の変化を整理したうえで、これからのビジネスにおけるデザインの可能性について論じなさい。

資料1

著作権未処理のため、公開できません。

著作権未処理のため、公開できません。

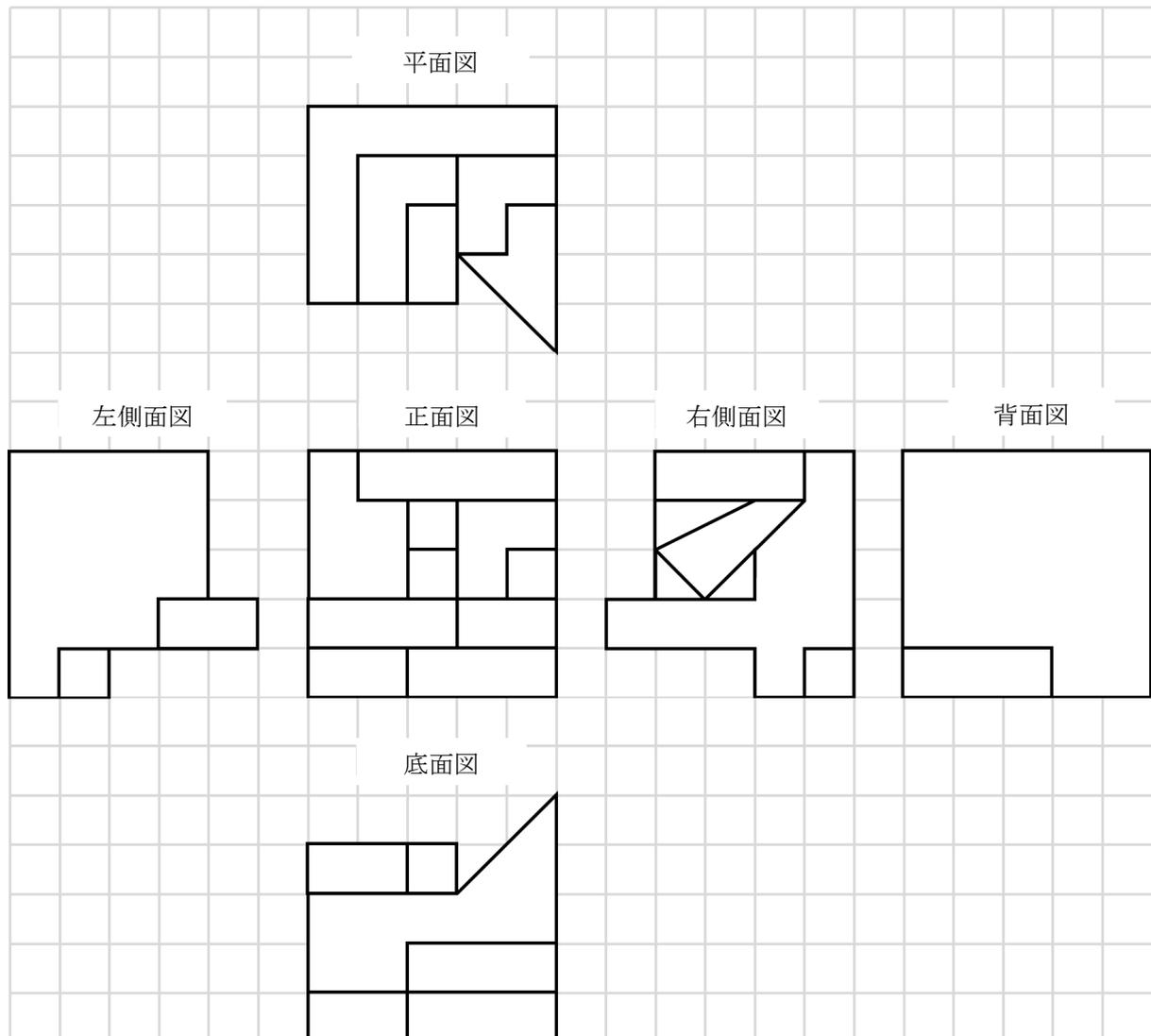
資料 2

著作権未処理のため、公開できません。

[No. 3]

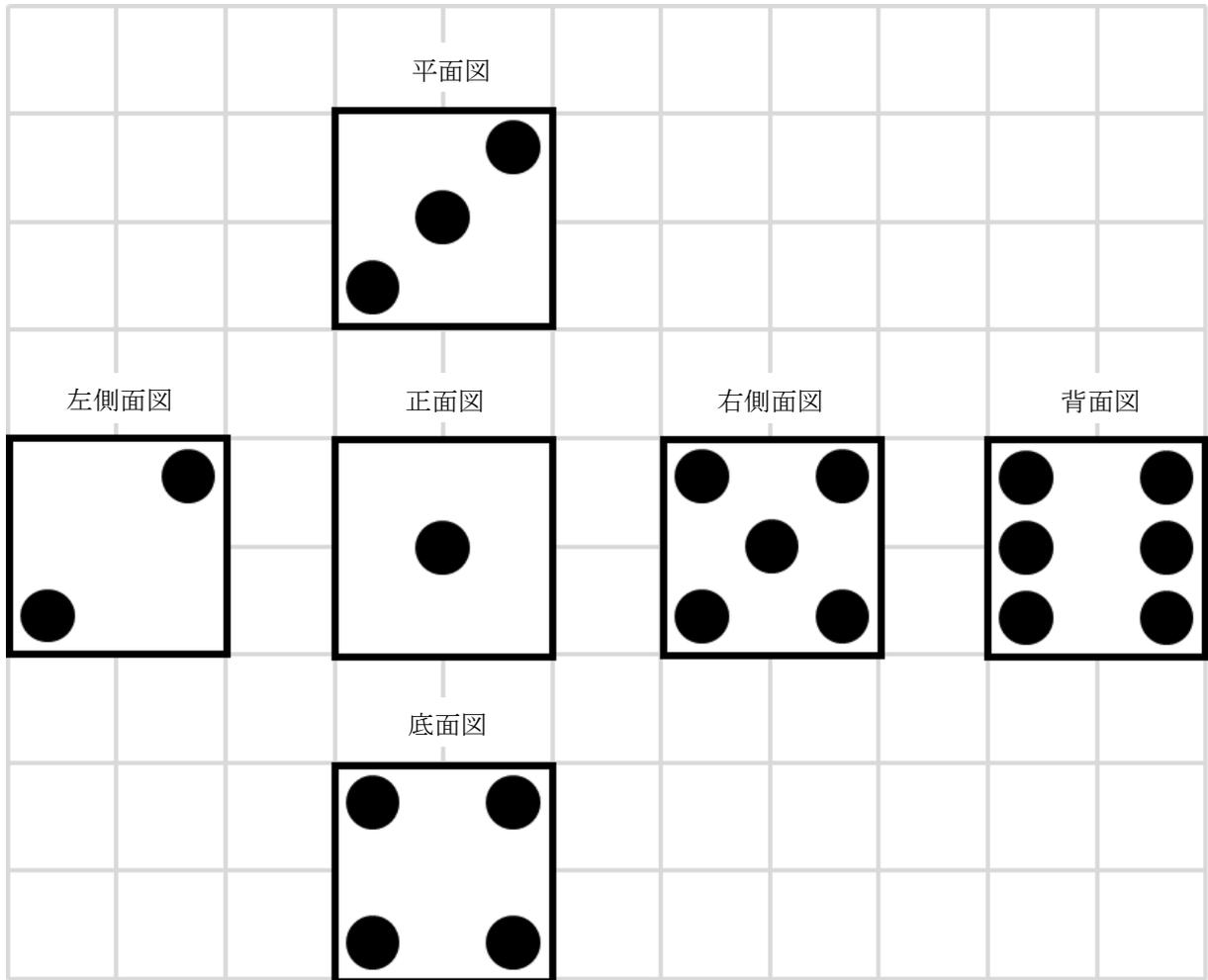
次の六面図によって表される立体の「正面、平面及び右側面を表す斜視図」を（例）に倣い斜投影図法を用いて作成しなさい。

なお、各図の実線は立体の稜線を表し、この立体には模様及び曲面はないものとする。

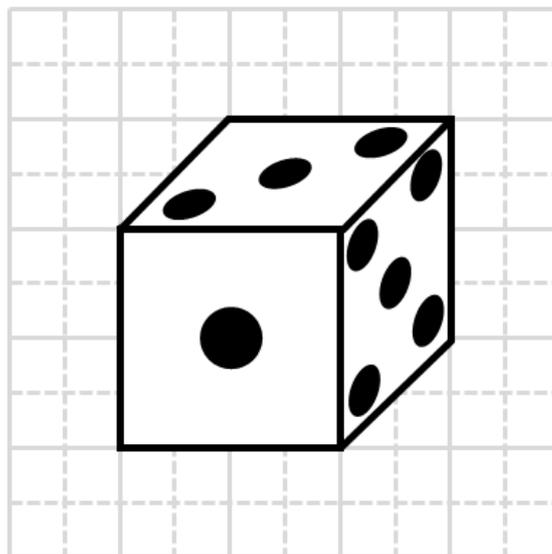


[No. 3]

(例)



「正面，平面及び右側面を表す斜視図」

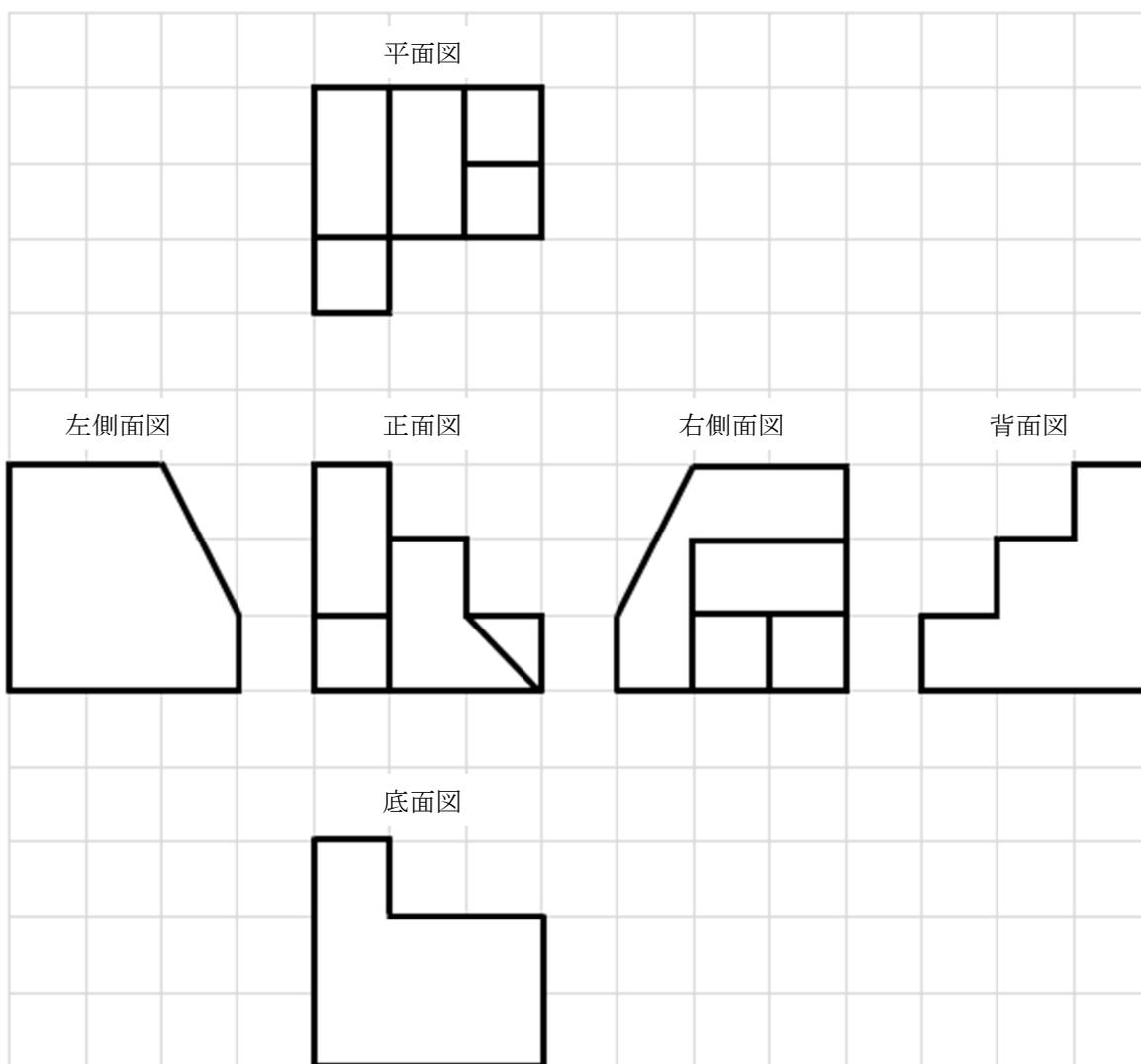


[No. 4]

次の六面図によって表される立体Aの凹凸と隙間なく組み合わせて立方体となる立体を立体Bとする。「立体Bの左側面，底面及び背面を表す斜視図」を（例）に倣い等角投影図法を用いて作成しなさい。

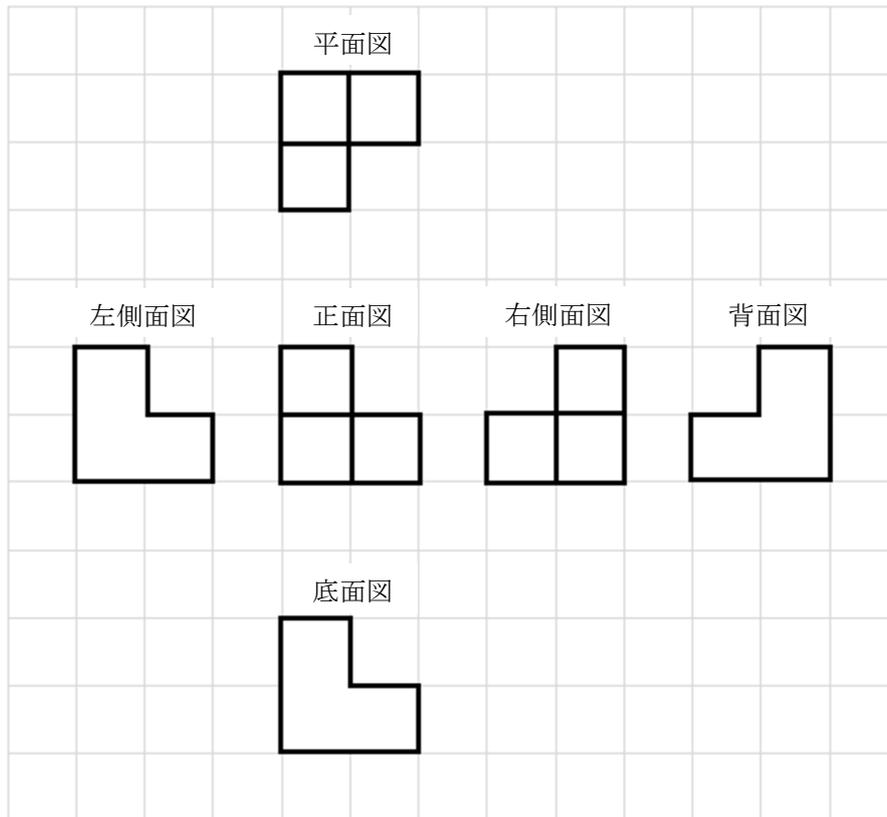
なお，立体Bの左側面，底面及び背面は，それぞれ，立体Aと組み合わせたときに立体Aの左側面，底面及び背面と同じ向きの面とする。また，各図の実線は立体の稜線を表し，立体A及び立体Bには模様及び曲面はないものとする。

立体A

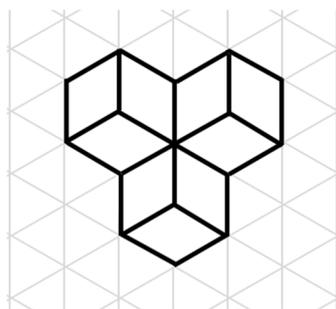


[No. 4]

(例) 立体ア



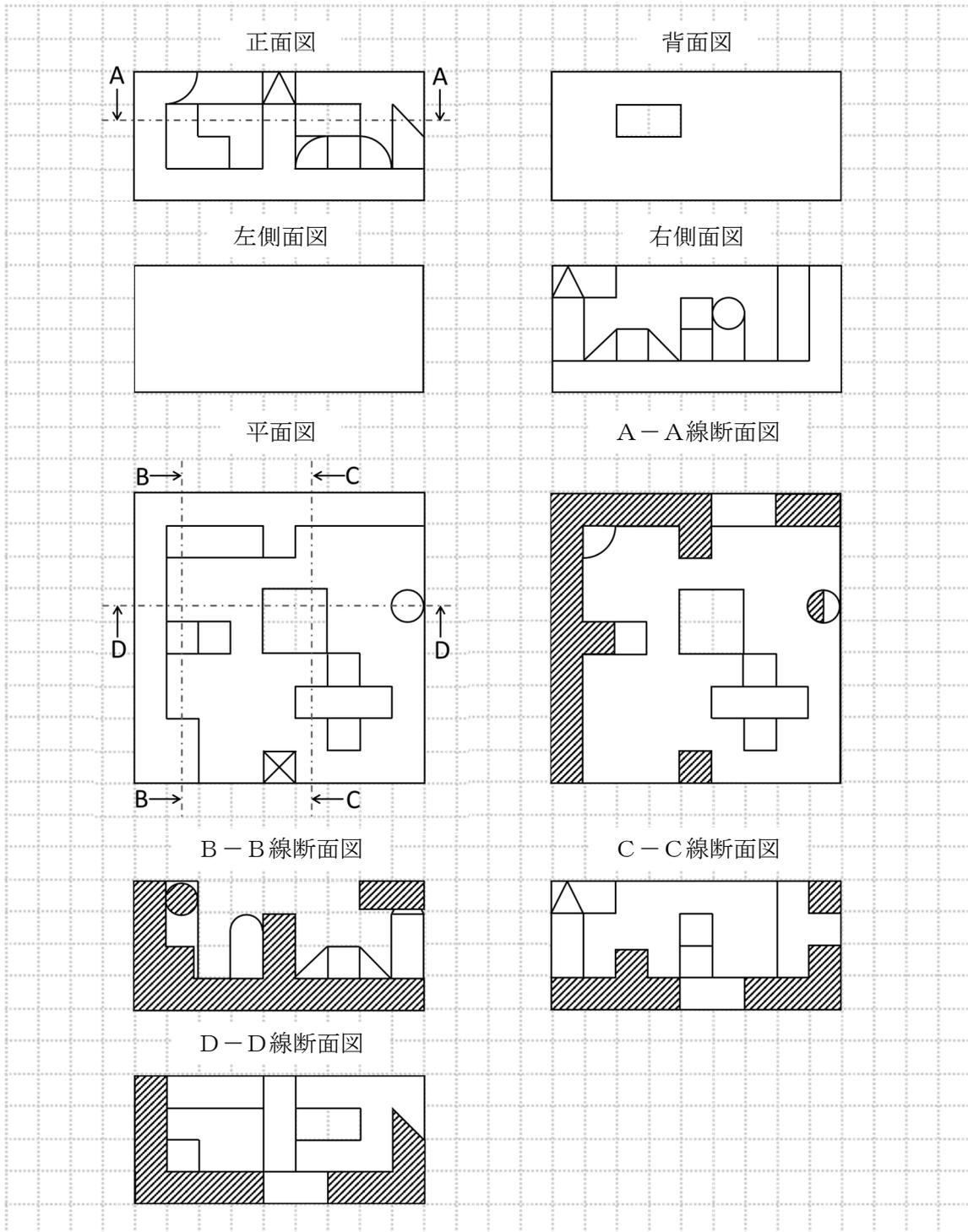
立体アの凹凸と隙間なく組み合わせて立方体となる立体イの
左側面，底面及び背面を表す斜視図



[No. 5]

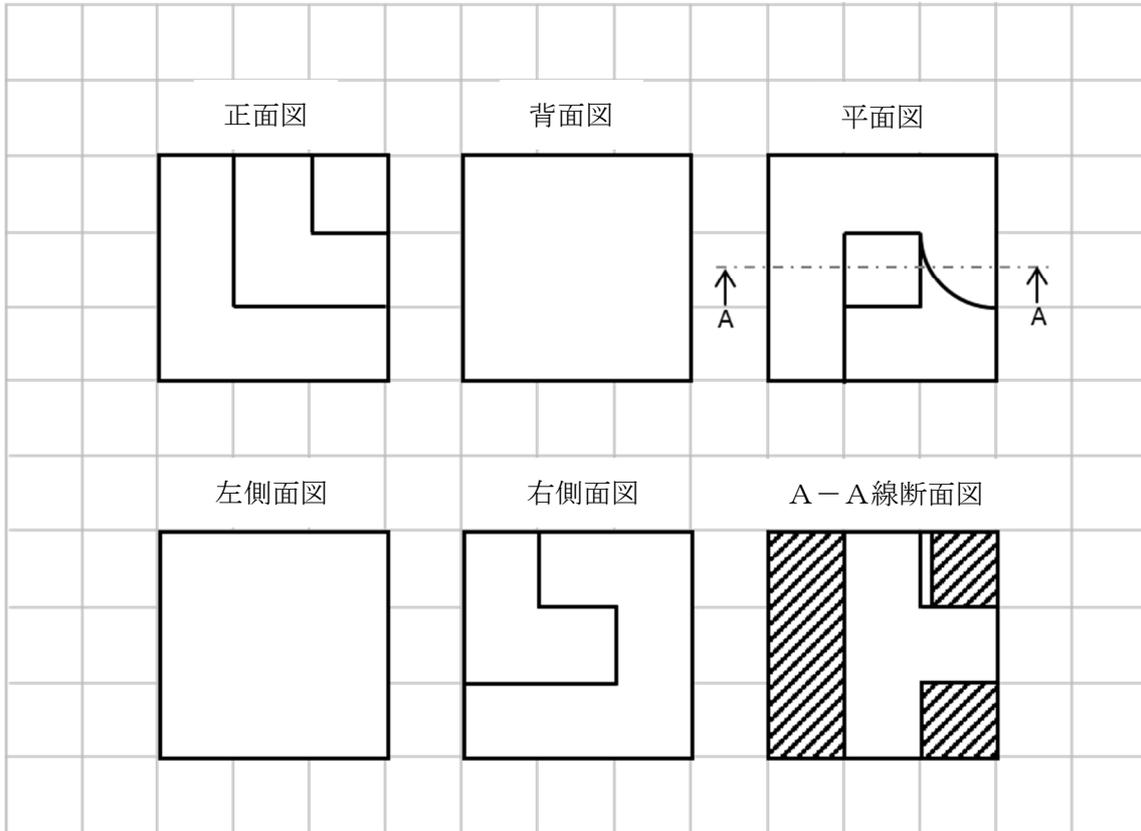
次の図面によって表される立体は、住宅の内装を模したものである。この立体の「正面、平面及び右側面を表す斜視図」を（例）に倣い等角投影図法を用いて作成しなさい。

なお、各図の実線は立体の稜線を表し、この立体には模様はないものとする。

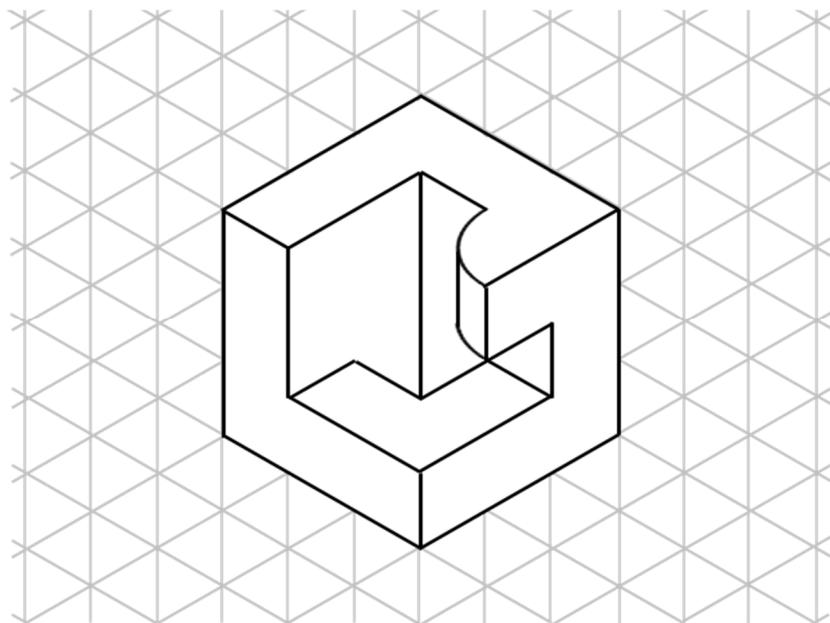


[No. 5]

(例)



「正面，平面及び右側面を表す斜視図」

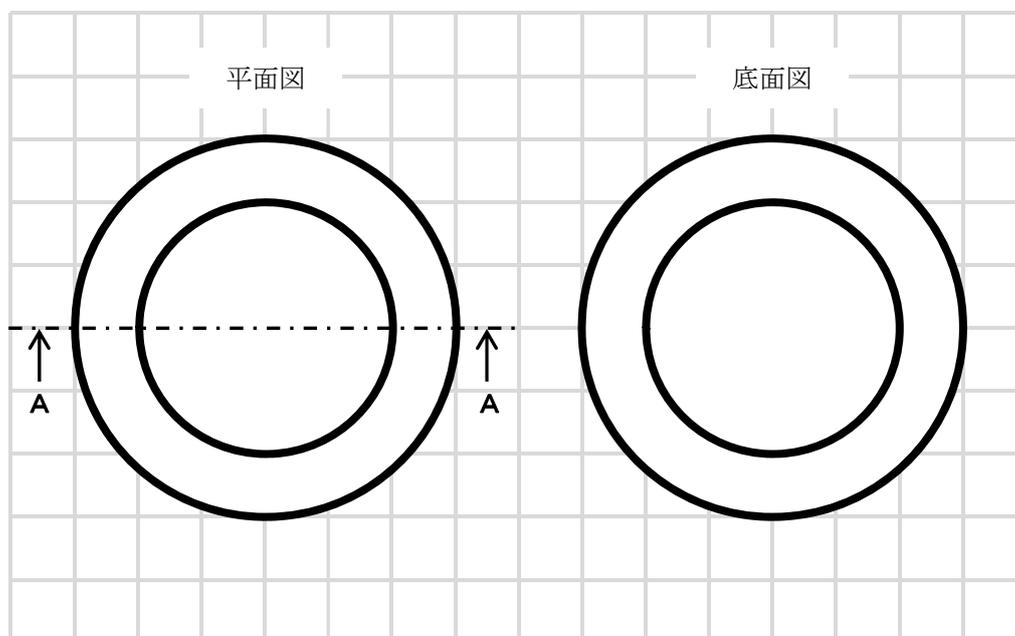


[No. 6]

平面図及び底面図がいずれも次のように表される2つの物品(ア),(イ)の立体形状を自由に想起し, それらの立体の「正面図」, 「A-A線断面図」及び「斜視図」を(例)に倣って作成しなさい。

(解答に当たっての留意事項)

- 平面図及び底面図に表された実線は, 立体の稜線又は僅かな厚みを有する板状体の端面のいずれかを表すものとする。
- 斜視図を描画する際に用いる図法, 向き及び作成数は, 任意とする。
- 斜視図の解答欄の余白に, 文言による補足説明を記載してもよい。

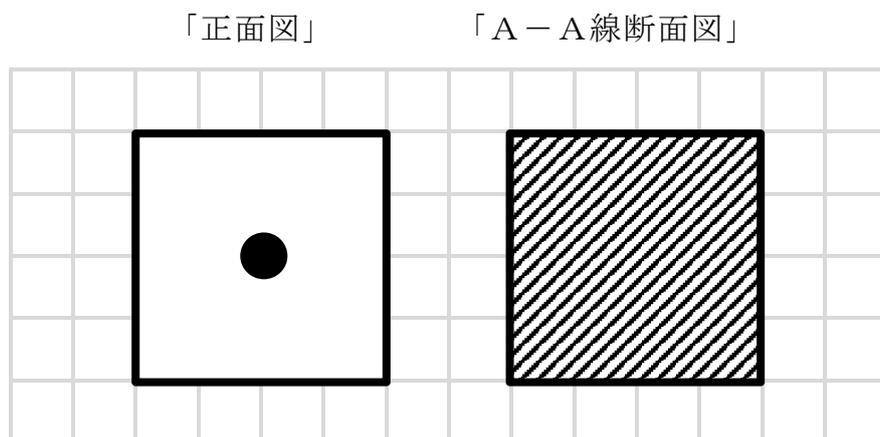
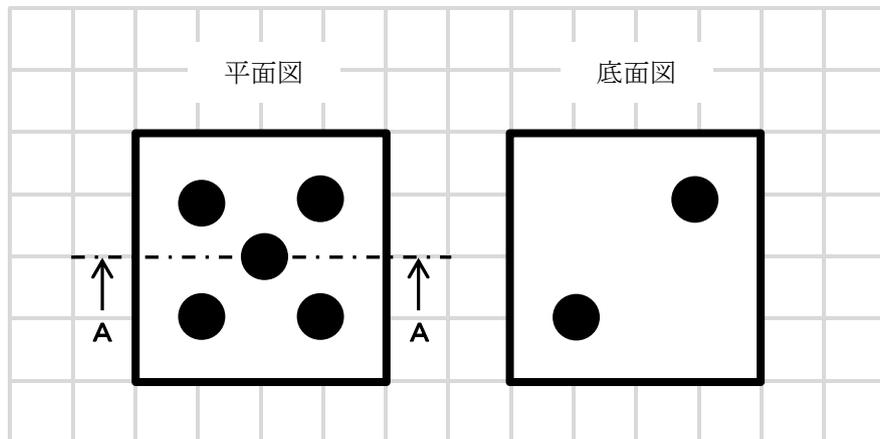


(ア) スタッキング (積み重ね) 可能なコップ

(イ) 座面が回転する椅子

[No. 6]

(例) サイコロ



「斜視図」

